

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市天文台
2 指定管理者	株式会社仙台天文サービス
3 指定期間	平成20年7月1日から令和20年3月31日まで
4 施設の利用状況	<p>《利用者数》</p> <p>平成30年度 184,289人（前年度比 127.9%）</p> <p>令和元年度 181,557人（前年度比 98.5%）</p> <p>※新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年2月29日～3月31日プラネタリウム及びひとみ望遠鏡休止</p> <p>令和2年度 63,257人（前年度比 34.8%）</p> <p>※新型コロナウイルス感染症対策のため、各事業は令和2年4月1日～7月4日の期間、中止・休止の対応。令和2年4月11日～5月21日、令和3年3月26日～31日は全館休館を実施。</p>
	<p>《事業》</p> <p>天体観測の指導助言及びプラネタリウムによる天体現象の解説</p> <p>天文科学に関する観測研究並びに資料の収集、保管及び展示</p> <p>天文科学の普及啓発に関する行事の開催及び刊行物の発行</p> <p>学校理科教育における天体の観察実習の指導助言 等</p>
5 収支の状況	<p>《費用》 ()は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者に支払った費用 714,818千円 (714,440千円) <p>※PFI事業のサービス購入費施設整備費相当分を含む</p> <ul style="list-style-type: none"> その他市が負担した費用 1,501千円 (1,239千円) <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> 観覧料収入 28,233千円 (55,926千円) 使用料収入 25千円 (37千円)
6 利用者の声	<p>《実施状況》</p> <p>施設内にアンケート用紙を設置し、利用者の声を把握している。また、寄せられた意見に関する統計的な分析を行い、施設の維持管理・運営業務の改善に活用している。</p>

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的や役割を理解した上で、市民の宇宙に関する興味・関心に応え、深めることができるよう、天文台・博物館としての更なる質の向上に取り組んでいる。	33/33
II 施設の運営管理体制	各業務に必要とされる資格や専門的な知識を有する職員を適切に配置している。また、事故防止や災害発生時の対応等について、台内ミーティング等において関係者間での情報共有が図られている。また、スタッフサポーター（市民ボランティア）に対しても、スキルアップ等の支援を実施している。	29/29
III 施設・設備の維持管理	施設管理の一部において対応不備等が生じた事例があったが、天文台利用者が施設を安心して快適に利用できるよう、建築・設備の保守、清掃、警備等に加えて、施設の特徴を十分に考慮し、新型コロナウイルス感染症拡大防止における館内消毒・換気等の必要な対策を適切に行っている。また、環境負荷の低減に資す	24/24
IV サービスの質の向上	天文台利用者に宇宙を身近に感じ、親しみや興味を持ってもらえるよう、様々な事業を展開しており、地元出身のアーティスト等、多方面の関係者とのコラボレーション企画も行われている。 また、各イベント情報や天体の観測成果等について天文台ウェブサイトにて随時掲載しているほか、YouTube・インスタグラム等の各ソーシャルメディアを積極的に活用し、より効果的な広報に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	経営の健全性を確保するため、保険加入などリスク管理を適切に行うとともに、PFI事業の要求水準を達成するよう努力している。	10/10

三 評価総括

《指定管理者（株式会社仙台天文サービス）による自己評価》

本年度、仙台市天文台は、年間を通じて新型コロナウイルスへの対応を求められ、年度当初の4月11日から5月20日までと年度末の3月26日から3月31日（実施は2021年度5月11日迄）の46日間、臨時休館となった。その様な状況下でも、御来館の皆様のお蔭で、2020年度の実入館者数は、63,257人（前年度181,557人）、観覧料等収入は28,258千円（前年度55,964千円）となった。具体的業務の中期計画は、2020年度も「宇宙を身近にを理念に掲げ、「WAをひろげよう」をビジョンに、引き続き市民に親しまれる施設、憩いの施設として、仙台市から示されている「要求水準」を着実に実行するとともに、社会教育・生涯学習施設としての価値を高める施設運営に取り組んだ。

また、施設の使命である、市民が宇宙や天体を通して自然や科学について学べるようにするとの理念に関しては、設備やスタッフとともに発展しており、地元教育研究機関との連携強化により活動の幅が広がっている。天文分野の教育をより専門的、効果的に行う場としての天文台は、社会教育施設としての利用が高まり天文学の普及啓発に引き続き寄与している。

更に、各種イベントや毎週土曜日に開催する土佐名誉台長によるトワイライトサロンを通して「にぎわいの創出」を意識した活動を行ってきた。ユーザーの声を聞き、そこから頂いた貴重なご意見、ご要望や改善を届けるツールとしての「来館者アンケート」ではお客さまからの「声」を基に、随時適切に対応しており、台内会議等で改善事項を共有、確認し、掲示板やWebサイトで公表している。2021年度も当施設の使命を忠実に遂行し、市民の方々や来館者のニーズに応える施設となるようスタッフ一丸となって取り組んでいきたい。

《施設設置者（仙台市）による評価》

総合評価

令和2年度は、指定管理者として市民の快適な施設利用を重要な運用方針として施設管理・事業運営を展開し、適切な施設運営を行っている。施設入館者（利用者）数については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、施設の利用制限・イベントの開催自粛、臨時休館といった対応を取らざるを得なかったことから大幅な減少となったが、利用者のニーズの把握に努め、有効な手法を随時検討しながら関連企画を展開し、積極的・効果的に広報を行いながら利用者サービスの向上に努めており、十分評価できる内容である。

また、利用者からの意見や要望の取り扱いに関しては、職員会議で共有し組織的に検討・策定した改善策を実施するという運営サイクルも構築されている。併せて、地元の大学や地域団体等との連携イベントの企画・実施により、より多くの市民に来館を促し、施設を拠点とした賑わいの創出を図っており、天文台事業に関する更なる質の向上が期待される。

S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

新型コロナウイルス感染症の拡大により、同感染症の拡大防止対策が施設運営における最優先事項となったが、指定管理者の立場としてこのことを十分認識し、各設備利用や関連イベント開催時・日常の維持管理など、あらゆる方面において感染防止対策に留意しながら、円滑な施設運営を展開した。

◎ 評価担当課（施設所管課）： 教育局生涯学習部生涯学習課